

【自由意見の内容】

(調査票回収期間 平成31年3月1日～3月8日)

景況調査票の自由意見欄に278通の貴重なご意見をいただきました。
ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。

分類項目	意見数
1. 経済・景気動向	88
2. 業界の動向	66
3. 顧客・得意先	31
4. 為替	11
5. 金融・資金繰り	18
6. 売上・収益	55
7. 物価変動	8
8. 消費税	61
9. 人材の確保・育成	49
10. その他	16
計(複数回答)	403

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。
なお、掲載にあたり、若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- 個人消費の低迷が景気に影響を与えている。(装身具・装飾品製造業)
- 元号が変わるに伴い印刷物の増加が見込まれることと、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業で景気が上向きになることを期待したい。(印刷業)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の受注により、目先の仕事は確保してきたものの、一方で米中貿易関係の影響で、受注が大幅に減少している取引先が出始めており、楽観視できない。(金属被覆・熱処理業)

- 政治動向により世界経済が大きく変化している。(靴・履物卸売業)
- 休日が多く実働時間が少ない時に、景気動向が悪くなり売上などが減少する。(ゴム・プラスチック卸売業)
- これまでの景気回復パターンで考えれば、零細企業に最後に好況がめぐり終わったが、今回は末端にまで届かず、景気は下り気味である。(家電・電気機器小売業)
- 経済の中心がものでなくなってきており、また、物流も個品配送中心となり、従来から変わってきている。大多数がこの経済活動に参加できているとは思えない中、利用者は増している。(運輸附带サービス業)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連でもっと仕事が増えると思ったがそうでもない。(事務用機器他賃貸業)
- 米中関係の影響が日本に波及し、対中輸出が減少すれば日本経済にマイナス効果となるため、日本経済の冷え込みを懸念する。(不動産賃貸・管理業)
- 景気拡大最長継続といわれているが、全く実感はない。(酒場・ビアホール)

2. 業界の動向について

- ファストファッション化が進み、中間商品がない。二極化が進んでいる。(かばん・袋物製造業)
- 高齢化が一段と進み、生産効率が低下。技術伝承がなされないまま廃業と、先行きの見通しが非常に暗い。(貴金属・宝石製造業)
- 他社の合併、各社の物流費増大への対応の仕方により、商流に変化が生じる可能性があると思っている。(紙製品製造業)
- 業界自体が衰退して、今後どこまで縮小するのかが気がかり。(なめし革・革製材料製造業)
- 半導体関連が非常に悪化している。(電子部品・デバイス製造業)
- 高齢化により生産者が減少傾向にあるため、ますます仕入が困難になっている。(木材・他建築材料卸売業)

- 精密装置の組立は、現在は受注分で忙しいが、その後の注残は大幅減少している。
(建設・他一般機器卸売業)
- 廃業が多い。
(食肉小売業)
- 業界での廃業が増加している。
(米穀類小売業)
- M&Aが進んでおり、競合店舗数が多い中、今後の生き残りへの大変さが身に染みる。
(医薬品小売業)
- 閉鎖スタンドが多くなっている。
(燃料小売業)
- AIにどこまで仕事を奪われるのかという心配と、専門職として力を発揮する場はなくなる、という楽観論がある。
(その他専門サービス業)

3. 顧客・得意先について

- 得意先の内製化移行があるため、新しい得意先確保に全力で取り組んでいる。
(特殊印刷業)
- 高齢化により顧客が廃業していく中で、新規取引先の獲得が進まない。
(塗料卸売業)
- ホームページ作成やニュースレター郵送により、商品情報がスピーディに伝わるようになり、集客に役立っている。
(化粧品小売業)
- 得意先の意見や要望を踏まえての人材や仕事の対応により、仕事確保につなげている。
(映像・音声制作業)
- 重要得意先の業績を注視している。
(建築設計業)
- 高齢化による顧客の減少が大きい。
(リネンサプライ業)

4. 為替について

- 為替の行方を注視している。
(医療用機器製造業)

5. 金融・資金繰りについて

- 製品の海外依存度が高く、購入ロット数が多いことと、納期が長いこと等により、資金繰りが厳しい。仕入に特定した融資があるとよい。
(情報通信機器製造業)
- 売上減少のため、資金繰りが困難。
(燃料小売業)
- 景気が先行き不透明で、銀行が運転資金を貸してくれるのか不安である。
(映像・音声制作業)
- アイディアが製品に至るまで、資金がないとどうにもならないため、資金繰りが大切。
(その他土木建築サービス業)
- 不動産業向けの融資がしまり気味となり、地価も下がってきた。
(不動産取引業)
- オフィス街のため、大型連休による稼働日数の減少で例年以上の売上減少が見込まれ、従業員への給与の資金繰りが苦しくなりそうだ。
(一般飲食店)

6. 売上・収益について

- 収益が低下し、少しずつ送料や資材費等が上昇。原価が上がっていると思うが、製品単価に上乗せできない。
(下着その他繊維製品製造業)
- 米中関係の影響が原因と思われる売上高の落ち込みが続いている。
(工業用プラスチック製造業)
- 祝祭日が多くなると、営業日数が減少するため売上減少につながり収益も減る。
(なめし革・革製材料製造業)
- 消費が落ち込み、人件費・送料・休日の増加等で利益が消えてしまう。
(酒類・飲料卸売業)
- 中国の景気減速が報じられる中、収益悪化につながる恐れもあるため、いつごろから影響が出てくるのか関心がある。
(非鉄金属卸売業)
- 客単価が低い。購買力が下がっている。
(茶・のり・乾物小売業)

- 医療費改定による収益の悪化は小規模店舗では対応できない。 (医薬品小売業)
- 諸経費の値上がりが売上高についていけない現状。 (その他専門サービス業)
- 人材不足によるサービスの質の低下が売上に影響を及ぼしている。 (一般飲食店)

7. 物価変動について

- 円安と資源高でいろいろな商品の卸売価格は値上げの方向であり、消費者心理は毎日の生活を優先するため、身の回り品に関しては興味を持つことさえないように思われる。 (装身具・身の回り品卸売業)
- 3月より商品単価が上昇、売れ行きが気になる。 (菓子・パン類卸売業)
- 燃料が高い。 (道路貨物運送業)

8. 消費税について

- 軽減税率の対応・内容が不明確。 (化学工業)
- まだ増税できるほど景気は回復していない (特に個人消費)。もう少し先送りにするべき。 (金型製造業)
- 消費税引き上げ前の駆け込み需要を主因とする一時的な景気浮上後のマイナスは避けられず、先行きが不透明。 (発電・送電・配電用機器製造業)
- 消費税の動向と、建築需要の減少が本年後半におこる可能性を心配している。 (家具・建具卸売業)
- 消費税が10%になり、景気が悪くなる不安が強い。 (男子服小売業)
- 増税による販売経費の増加が見込まれるが、その増加分を価格に反映させることに消費者が納得するのだろうか。 (鮮魚小売業)
- 増税前の駆け込みで一時的に受託件数増。増税後が心配である。 (その他専門サービス業)
- 軽減税率等、複雑な仕組みはやめてほしい。 (事務用機器他貸貸業)

- 可処分所得の上昇がない現状で、消費税増税分を価格に上乗せできるのか、非常に心配である。 (スポーツ施設提供業)

9. 人材の確保・育成について

- 人材確保が極めて困難な状況が続いている。 (印刷業)
- 新たな外国人材受入れ (在留資格「特定技能」)に興味がある。 (鉄鋼・非鉄金属製造業)
- 人材の確保に努めているが一向に希望者がいない。 (管工機材卸売業)
- 人材募集に努めるも応募が少なく、採用が非常に難しい。経営、運営面で大きな課題となっている。 (その他化学製品卸売業)
- 現場での人材不足が深刻化してきている。 (各種食料品小売業)
- 事業は好調だが、人材確保に悩む。 (医薬品小売業)
- 人手不足が顕在化しており、募集しても応募が来ない状況が続いている。 (機械設計業)
- 売上に比べ、人手が足りない状況。今後の経営に不安を感じつつある。 (事務用機器他貸貸業)
- 人手不足のため、人材の引き抜きが始まっている。 (警備業)

10. その他

- 非現金化の流れへの対応が難しい。 (米穀類小売業)